

日産車体株式会社
2021年度
第2四半期決算説明
(2022年3月期)



決算サマリー

先行きの不透明感は依然としてあるが、北米向けの「アルマーダ」や中近東向け「パトロール」等の増加により、売上台数は増加。この結果、損益面は改善したものの、売上高は「収益認識に関する会計基準」等の適用により減収となる。

売上台数

商用車・小型バスは売上台数が減少したものの、乗用車の生産台数が大幅に回復し、前年同期比11千台増の61千台

売上高

台数増の影響はあったものの、「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる影響等により、72億円減少の1,151億円

営業損益

売上台数の増加等により、前年同期比60億円改善し、5億円の損失計上

親会社株主に帰属する四半期純損益

営業利益等の改善等により、前年同期比34億円改善し、2億円の損失計上

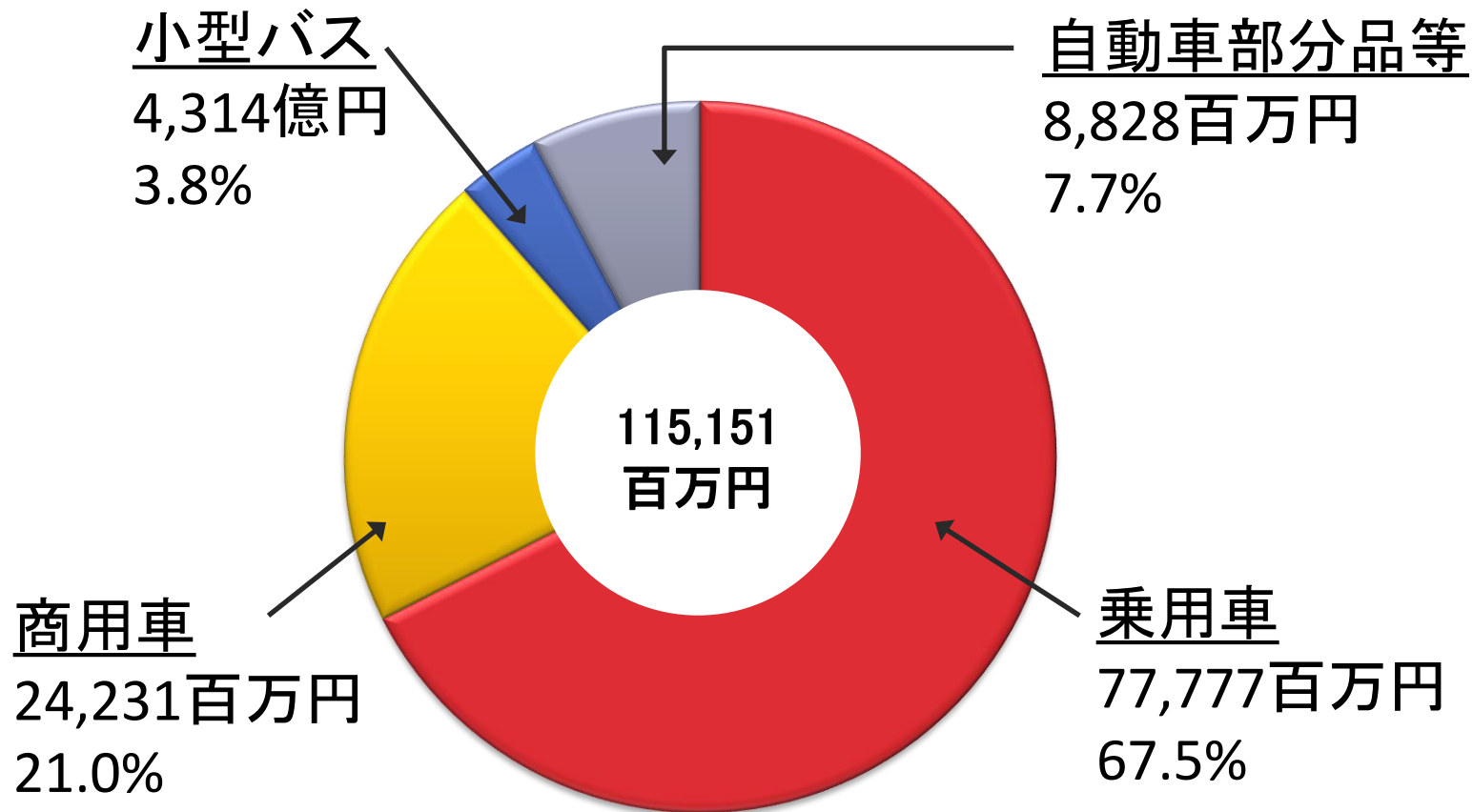
2021年度 第2四半期 決算 <累計>

業績ハイライト

	2020年度 第2四半期 (2020/4~9)	2021年度 第2四半期 (2021/4~9)	増減額(率)	通期計画
売上高	122,441	115,151	▲ 7,290	– 217,800
営業損益	▲ 6,643	▲ 544	6,099	– ▲ 3,100
経常損益	▲ 6,051	▲ 339	5,712	– ▲ 2,300
親会社株主に帰属 する四半期純損益	▲ 3,657	▲ 211	3,446	– ▲ 2,100

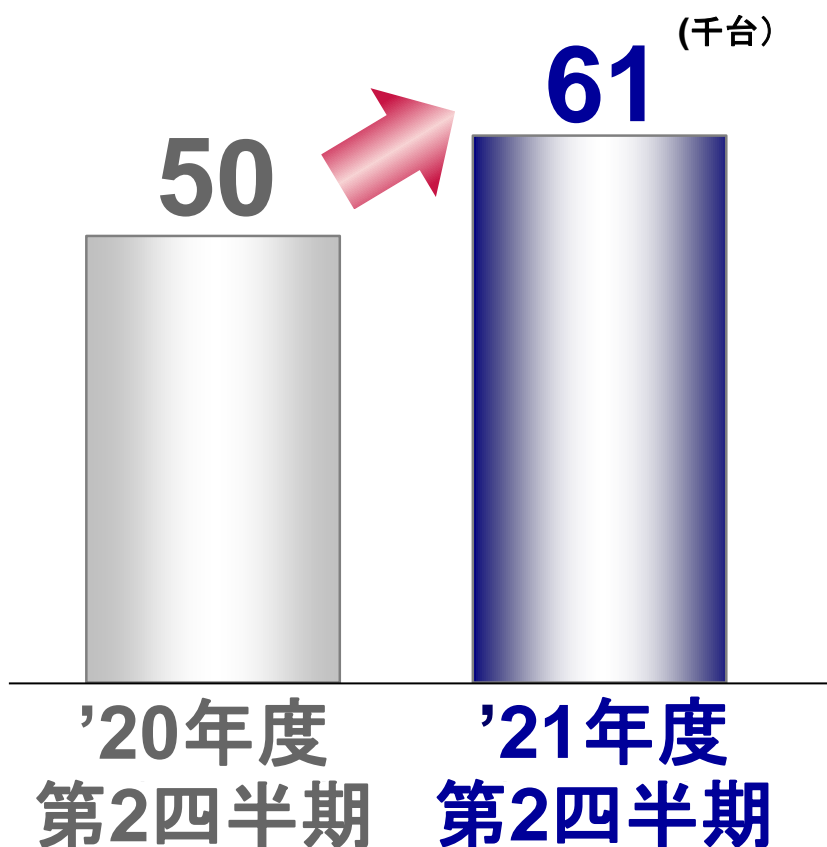
(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高は、対前年同四半期増減率は記載しておりません。 単位:百万円

品目別売上高構成比



売上台数

売上台数は前年同期比22.5%増の61千台

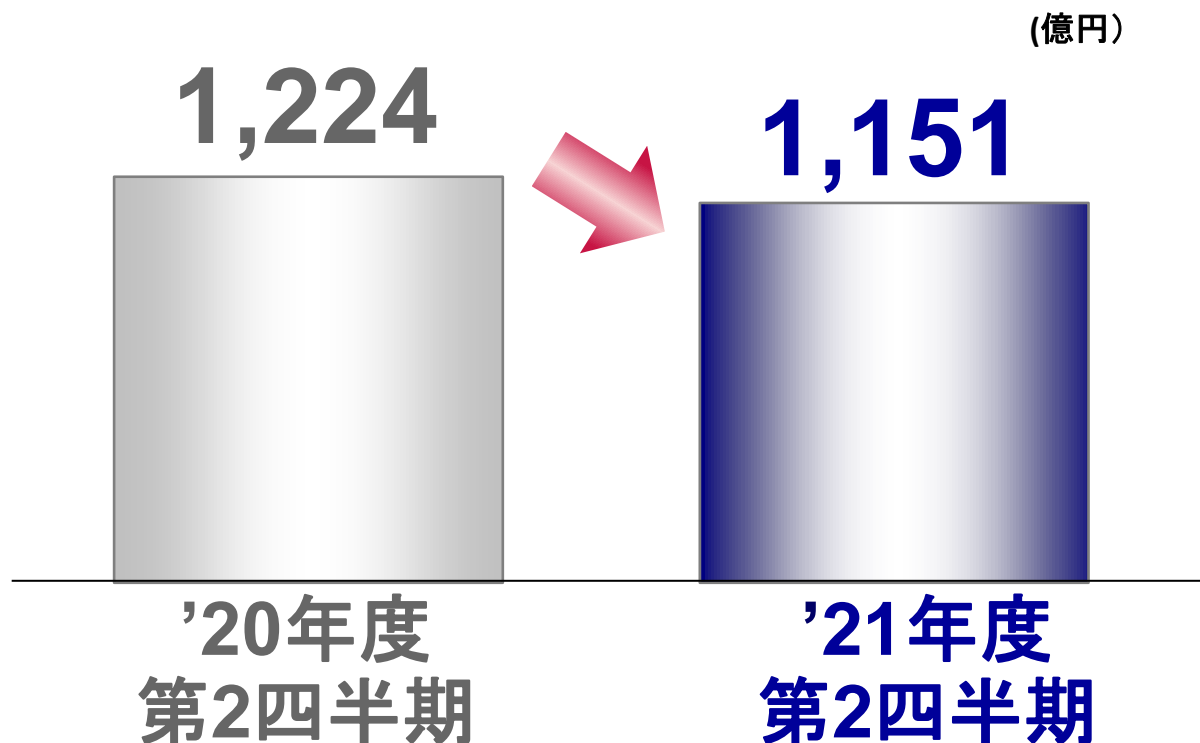


(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	16	32	97.2%
商用車	30	26	▲13.3%
小型バス	4	3	▲17.0%
合計	50	61	22.5%

売上高

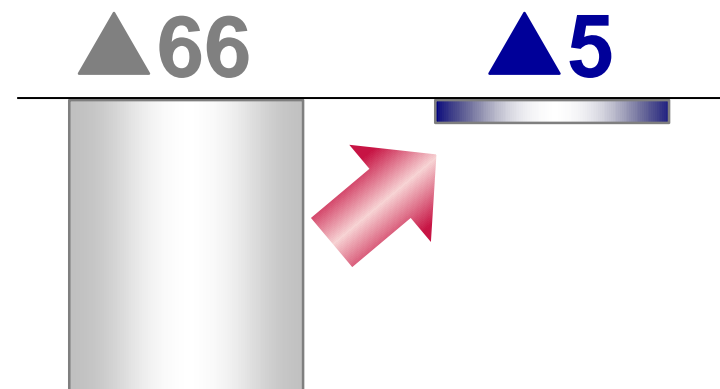
売上高は、台数増加の影響があったものの、有償支給取引において「収益認識に関する会計基準」等を適用したことにより、前年同期比72億円減の1,151億円



営業損益／経常損益

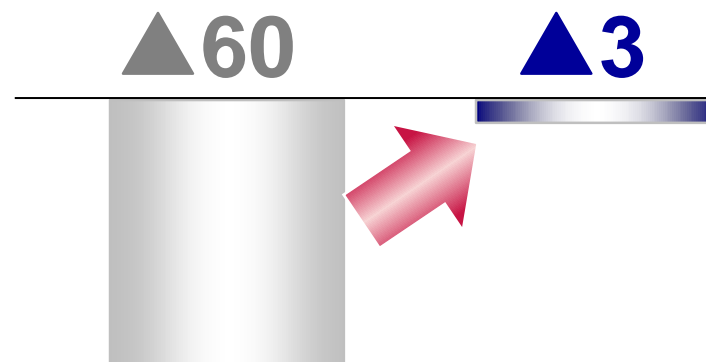
営業損益/経常損益ともに大きく改善したものの損失計上となった。

営業損益 (億円)



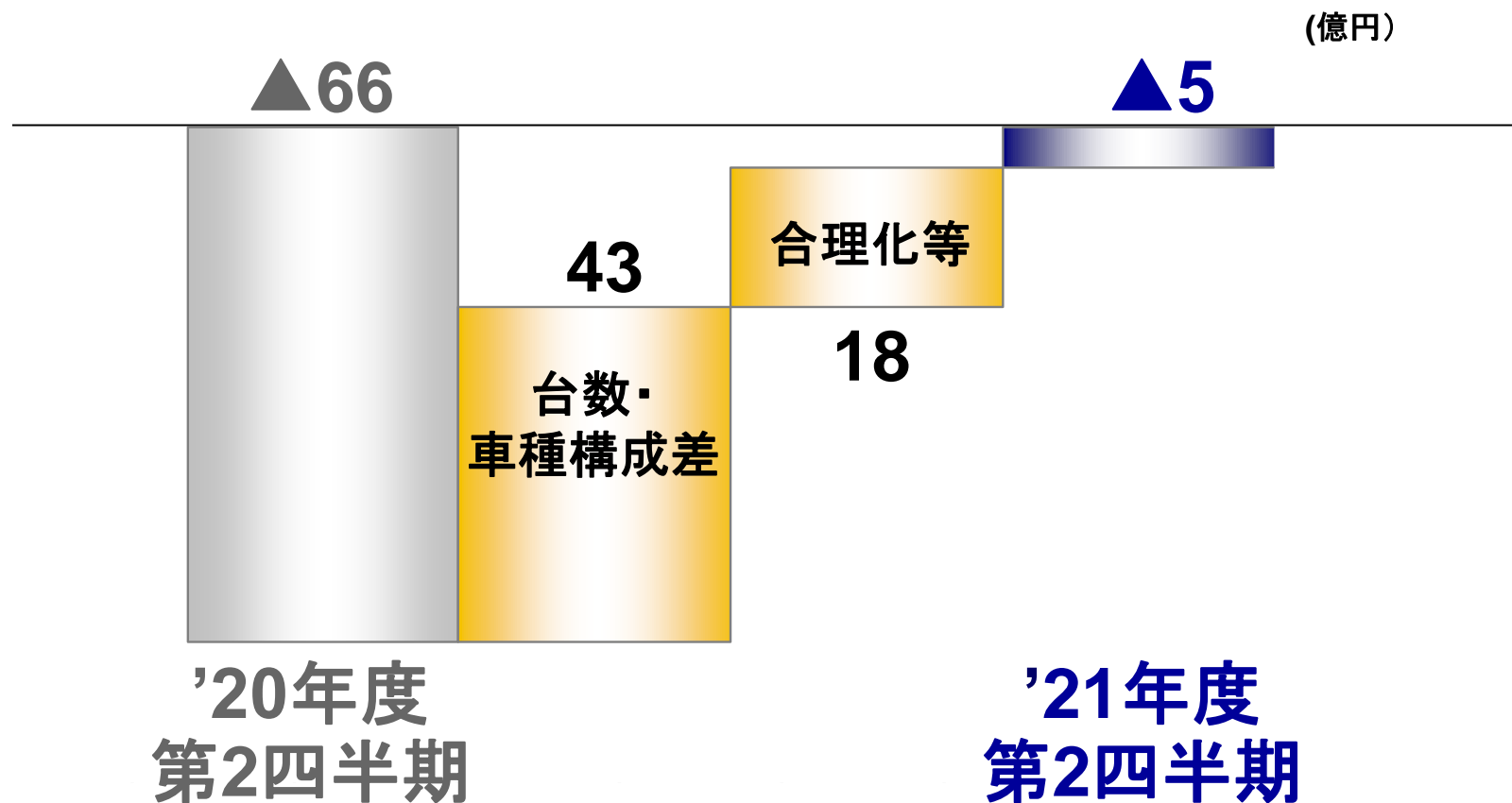
'20年度 第2四半期 '21年度 第2四半期

経常損益 (億円)



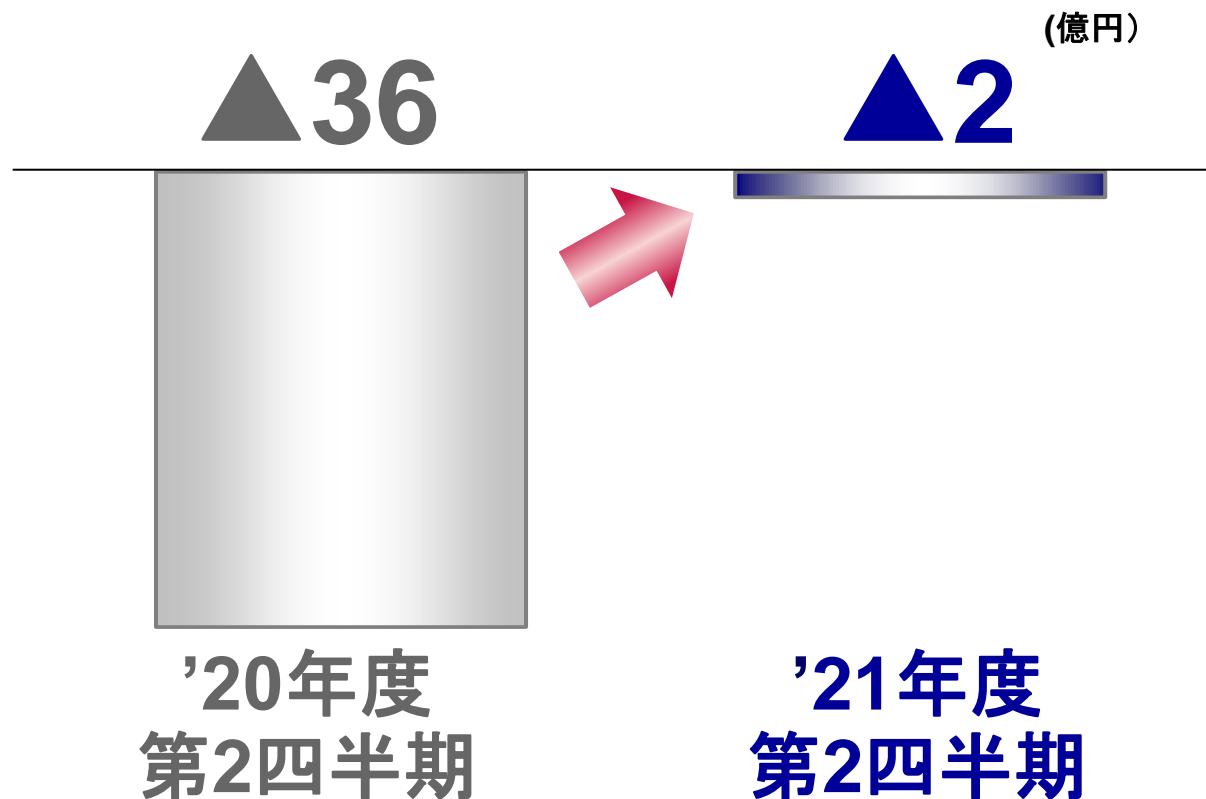
'20年度 第2四半期 '21年度 第2四半期

営業損益の増減要因



親会社株主に帰属する四半期純損益

親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比34億円改善し2億円の損失計上となった。



株主還元

継続的な安定配当を基本とし、年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

